

# みらいん

たいはく

「みらいん」は、  
震災からの復興に向けて  
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の  
今を結ぶ情報紙です。



◀左から  
生放送で“震災”を語る  
渡辺晴江さん  
千葉めぐみさん  
野田紀子さん  
渡辺ひとみさん  
佐藤彬人さん

今月の  
ひと

## 仮設住宅に住む皆さんの幸せを願う 震災番組の出演者たち

### 毎月1度の特別番組で被災者にエールを送る

東日本大震災発生から8ヵ月。11月11日に太白区長町にある「エフエムたいはく」で、恒例の震災特別番組がオンエアされました。このプログラムは毎月11日に放送中。

今回の生放送には、同局代表取締役の野田紀子さんと、震災発生時にも放送を担当していたパーソナリティ千葉めぐみさんが司会役で登場。

ゲストに、あすと長町仮設住宅の「絆支援員」として見守り活動を続けるパーソナルサポートセンター（PSC）の職員3人を招き、普段の仮設住宅の様子についてお話を聞きました。

「最初住民の方は、玄関の戸を2、30センチぐらいしか開けてくれなかった」

と打ち明けるPSCの渡辺晴江さん。その後、少しずつ距離が縮まり、今では「お茶っこ飲んでけ」と気さくに話しかけてくれるまで“絆”が深まっています。

「仮設住宅に住む人たちは、元気を取り戻している途中。

これからも希望を持って生活して欲しい」と、絆支援員の皆さんはエールを送り続けています。

2011

12

第1号

# エフエムたいはく 3.11からのあゆみ

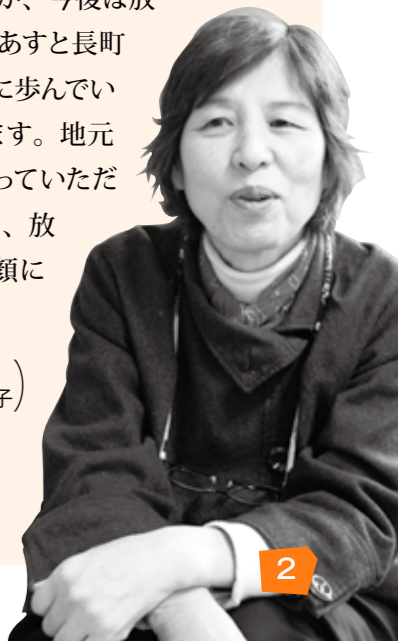
太白区長町にある商店街の一角に、地域との絆を大切にしながら活動を続けるコミュニティ FM局「エフエムたいはく」があります。東日本大震災発生時は停電により放送が停止。しかし5日後の3月16日には放送を再開し、被害状況や生活情報など、地域の貴重な情報を提供しました。現在も震災に関するテーマを積極的に追いかけて、被災者に向けてさまざまなメッセージを発信し続けています。

## 地震直後の反省を活かし 地域と共に歩む放送局へ

エフエムたいはくの理念として「地域に身近な、地域が主役の放送局」「みなさんが笑顔になれる放送局」「防災・減災に役立つ放送局」の3つを掲げています。特に防災・減災については、これから具体的な対策を行っていくとした矢先に東日本大震災が発生。震災直後は局周辺すべてが停電となり、予備電源が稼働していた30分間のみしか放送を続けることができませんでした。放送局として、地域の人たちが困っているのに役に立てなかったことは、正直とてももどかしかったです。

放送再開後は、地域の被害状況のほか、地元で開いているお店の情報などをスタッフ総出で調べ、積極的に放送しました。現在は通常の番組編成に戻っていますが、今後は放送局の役割をきちんと果たしながら、あすと長町仮設住宅の住人を含む地域の方々と共に歩んでいけるような放送局にしたいと考えています。地元の人たちにさまざまな形で番組に関わっていただくことで、今まで以上に「絆」を強くし、放送を聞いているすべての人たちが笑顔になってもらえればうれしいですね。

(コメント: エフエムたいはく株式会社 代表取締役・野田紀子)



## 3月 東日本大震災発生!

地震が起きたのは、担当していた情報番組「ほっとすて〜しょん」の生放送中。あと数分で終了という時間帯でした。揺れている時間がとても長く、目の前のマグカップなどが次々に落ちたので、これは普通の地震ではないと感じましたね。外を見るとスタジオ前の電柱が普通では考えられないぐらい左右に揺れていたことを覚えています。とにかく冷静に情報を伝える事だけを心がけました。



(コメント: パーソナリティ・千葉めぐみ)

## 11月 仮設住宅の住民を迎えた新番組

9月の特別番組がきっかけとなり、あすと長町仮設住宅の居住者の皆さんが出演する新番組「あすと長町仮設住宅の表情」が始まりました。木曜日の震災番組「3.11から」内で月に1回オンエア。仮設住宅での刻々と変わる生活模様、さまざまな出来事を、パーソナリティとして出演するあすと長町仮設住宅の方が語ってくれます。



## エフエムたいはくとは

仙台市太白区エリアで放送するコミュニティFM放送局。2007年9月に県内7番目のFM局として開局しました。周波数は78.9メガヘルツ。送信施設が「たいはく」屋上に設置されているため、区内はもとより、若林区や宮城野区、多賀城市や名取市など広範囲で良好に受信することができます。生放送を含む自主制作の番組が多く、地域と密着した放送局として、地元を中心とした多くのリスナーに愛されている「おらがまち」の放送局です。



現在募集中!

### 取材ボランティアスタッフ

取材に行ってもらえる取材ボランティアスタッフを募集。  
☎ TEL:022-304-5121 Eメール:789@fm-t.net

### エフエムたいはくサポートクラブ

災害時の情報収集やエフエムたいはくへの支援活動など。詳細は下記にお問い合わせください。  
☎ TEL:022-304-5121 Eメール:TSC@fm-t.net

2012へ

12  
Dec

11  
Nov

10  
Oct

9  
Sep

8  
Aug

7  
Jul

6  
Jun

5  
May

4  
Apr

3  
Mar

## 必聴! おすすめ情報番組

**朝ワイド「あさもり」** 月～金 8:00～9:55  
地域情報満載の生放送番組

**ほっとすて〜しょん** 月～金 12:00～15:00  
日替わりで公共施設の情報を紹介

**3.11から** 木 10:00～10:30  
震災を中心とした話題をピックアップして放送

**しらかし希望発信局** 木 17:20～17:30  
震災に関する内閣府からの情報を提供

**繋 -TSUNAGI-RADIO** 木 20:00～20:30  
DJ大坂ともおさんが伝える被災地の「今」

## 9月 開局4周年記念 特別番組を放送

9月24日・25日、エフエムたいはく内のスタジオや、あすと長町仮設住宅、SRGタカミヤスポーツパークあすと長町フットサルコートなどを会場に、開局4周年記念特別番組を放送しました。当日は、震災特番や生放送のほか、仙台フィルハーモニー管弦楽団有志のメンバーによるふれあいコンサートや、元プロ野球選手による少年野球教室などを実施。エフエムたいはくを応援する「サポートクラブ」によるバザーなども行われ、多くの人たちとの交流を深めることができました。

## 5月 震災特別番組を 放送

地震発生後しばらくは、主に震災関連情報を発信。行政からのお知らせをはじめ、スタッフが集めてきた地元のライフライン復旧状況や、開店しているお店の情報などを提供していました。5月11日には自社制作の震災特別番組を放送。その後は震災前の番組編成に戻りましたが、現在も通常放送内で、被災者に向けた情報を提供したり、震災に関連した新番組を企画・放送しています。

# レポート・長町ぶらり

取材したのは...

## 米工房いわいの「復興支援米」

### 仮設住宅入居者に復興支援米を贈呈

長町三丁目のサンカトゥール商店街にある米穀店「米工房いわり」は震災被災者を支援しようと、七月から「復興支援米」と名付けたお米の販売を続けてきました。支援米五キロが売れるごとに店が三百グラムを積み立て、まとまった



▲「米工房いわり」は昭和28年創業。震災直後からおにぎりなどを販売

量になったら被災者に贈るという仕組み。その第一弾として十一月十五日、あすと長町仮設住宅に一世帯一キロ、計二百三十三キロが贈呈されました。集会所で行われた贈呈式では、入居者ら約六十人が見守る中、同店三代目の岩井一剛統括部長が、あすと長町仮設住宅運営委員会の鈴木良一さんにお米を手渡しました。自身も若林区荒浜の自宅を津波で失い、五月から仮設住宅で暮らす鈴木さんは、「晴れの席なのでタキシードを着ねばと思いましたが、それも津波で流されました。お米は大変ありがたく、これで寒い日も生きながらえます」とコメント。「買うことで支援してくれた方々にも感謝したい」と御礼を述べました。

復興支援米は、岩井部長が「地元

これからも支援を続ける！  
地元の米屋としての決意



◀お米を挟んで笑顔を見せる岩井部長(左)と鈴木さん



多くの消費者の支持を集める復興支援米

赤な袋の中身は、宮城県産ひとめぼれ。袋には「がんばっぺ東北」のメッセージを入れ、七月十二日から長町の本店と広瀬通店(青葉区中央二丁目)で扱ってきました。消費者の反応は上々。「被災者支援につながるお米をください！」という客が次々と訪れました。十月半ばには販売量が千五百袋、被災者に届けられるお

米も四百五十キロを超え、岩井部長は太白区社会福祉協議会の協力を得ながら、最寄りの仮設住宅に贈る準備を進めてきました。岩井部長は「喜んでもらえて、こちらもうれしい。世間には震災が忘れられようとしている雰囲気もあるが、われわれは今後も支援米の販売と皆さんへの支援を続けます」と決意を語りました。

このコーナーでは、あすと長町仮設住宅の近隣にあるお店や施設の紹介、地元で展開されている復興支援などの取り組みについて紹介します。

所在地：仙台市太白区長町3-3-5  
TEL：022-247-3181  
営業時間：9:00～19:00  
定休日：第1・3日曜  
アクセス：JR長町駅から徒歩10分

## 情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

### 【ペット支援】

#### 被災ペットの困りごとを解決

仙台市動物管理センター内にある「仙台市被災動物救護対策本部」では、震災被害を受けたペットや飼い主を対象にした多彩なサービスを展開しています。

例えば、仮設住宅内でペットと一緒に暮らす方への支援として、犬・猫の伝染病予防ワクチン注射や、フィラリア予防薬の処方・配布。そのほかペットケージ・サークルの貸し出しや、マイクロチップの装着、ペットシート・犬猫用フードの配布に飼育・健康相談など、これらをすべて無料で行っています。

また震災などで飼えなくなった犬や、はぐれて飼い主が見つからない犬を新しい飼い主に引き渡す譲渡会を開催中。すでに6回ほど行われ、およそ90頭の被災犬が引き取られています。最近猫の譲渡会も実施しています。事前に予約をすれば、どなたでも参加が可能です。



対象 どなたでも参加できます(譲渡会は要申込)  
時 12月18日(日) 受付 犬/13:00～13:30  
猫/10:00～16:00  
所 仙台市動物管理センター(宮城野区扇町)  
問 022-258-1626 仙台市被災動物救護対策本部

#### ほっと一息お茶にしませんか

12月7日(水)、20日(火)いずれも13:30～15:00、あすと長町仮設住宅集会所。仙台傾聴の会のメンバーが、お茶しながら皆さまのお話をうかがいます。電話相談もどうぞ。

対象 近所の方も参加できます  
問 080-3199-4481 森山(火・木・土の9:00～17:00; 仙台傾聴の会)

### 【多重債務無料相談】

#### ひとりで悩まず、まずお電話ください

(財)日本クレジットカウンセリング協会仙台センターは、東日本大震災の影響でクレジットや消費者金融への支払いが困難になった方の相談に応じています。協会の消費生活アドバイザーが相談に応じるほか、必要に応じ、弁護士との面談の予約ができます。

対象 多重債務に関する事なら、どなたでも  
時 毎週月～金曜日 10:00～12:40、14:00～16:40  
所 (財)日本クレジットカウンセリング協会仙台センター、仙台市青葉区国分町1-7-18 白峰広瀬通ビル6F  
問 022-217-4014 (電話相談、面談予約とも共通)

#### 困りごとなどの巡回相談をはじめます

12月から、被災者の方を対象に、市民センターなどを拠点とする「地域支えあいセンター」で、困りごとなどの巡回相談を受けたり、交流の場づくりなどを進めます。被災者の方向けの支援情報コーナーの設置も。お住まいの近くのどの会場でも利用できます。太白区内での実施場所と日程は以下の通りです。(他の区での実施予定は、下記までお問い合わせください)

対象 主に借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方  
12月の巡回相談(9:30～16:00)  
▼10日(土) 富沢市民センター  
▼13日(火) 富沢市民センター  
▼15日(木) 富沢市民センター  
▼20日(火) 富沢市民センター  
▼22日(木) 富沢市民センター  
問 022-217-7234 仙台市社会福祉協議会 中核支えあいセンター

#### CILたすけっとサロン「ウェルカフェ」

12月10日(土) 13:30～16:00、グッドライフ8階コミュニティールーム(太白区長町1丁目)。障がい者の自立を支援する「たすけっと」が気軽におしゃべりできるサロンを再開、毎月第2土曜日に実施しています。

対象 障がいを持たれた方  
問 022-248-6054 CILたすけっと事務局(及川)

#### ささえあいの会

12月25日(日) 13:00～15:00、仙台市福祉プラザ10階(仙台市立病院向かい)。社会福祉法人仙台的のちの電話主催。東日本大震災で大切な人を亡くされた方々が、想いを語りあい、わかちあい、ささえあう場所です。

対象 どなたでも参加できます。予約不要  
問 022-718-4401 仙台的のちの電話

# 快適生活

このコーナーでは、身近にあるものを利用して、仮設住宅の暮らしをより快適に過ごせる工夫や”おばあちゃんの知恵袋”的な豆知識を紹介します。

## ペットボトルであったか湯たんぼ

～70代女性から長年愛用しているアイデアが寄せられました～  
大きいサイズの固めのペットボトルにお湯をいれ、大判タオルなどで包んでから敷布団の足元に置けば朝までムクムク快適です。足元が温かいとぐっすり眠れて免疫力もアップします。



固いペットボトル



## ダンボールで防音 & 防寒

壁にダンボールを貼ることで、防音と防寒の効果が期待できます。夜、寝る前に敷布団の下にダンボールを敷くと保温性も高まります。



## 紅茶とハーブキャンディー(のど飴)で風邪予防

温かい紅茶にハーブキャンディーをひと粒。紅茶にハーブエキスが溶けだして、のどがれや鼻炎症状がやわらぎます。実際、編集部で試したら大好評! 紅茶うがいも効果的です。



**Q** ローンの返済が残っている自宅が被災し修理をしたために、いわゆる二重ローン問題で悩んでいます。最近耳にする私的整理ガイドラインとは何ですか。また、これは法的な手続とどのような違いがありますか。

**A** 今年の8月22日から運用を開始した「個人債務者の私的整理に関するガイドライン」(以下、「ガイドライン」といいます。)は、被災者の生活再建・事業再建支援を目的として作られた私的債務整理の方法です。このガイドラインの利用には、①債務の減免を受けられる、②信用情報登録機関に登録されないで新規融資の申し込みが可能となる、③債権者から保証人に対する請求が制限されるというメリットがあります。ただし、この制度は、個人債務者で、震災の影響で既往債務の弁済が不能又は弁済不能が確実で、債権者にとっても経済的合理性が期待できる等の要件を満たす方を対象としています。そのため、震災前に既に支払に遅れがあった方や、現状で弁済が可能な方等は対象とはならないとされています。これに対し、個人の債務整理をするための法的な手続には、債務の一部減免をする個人民事再生手続、債務免除(免責)を受ける自己破産手続等があります。これ

らは①の点ではガイドラインと同じ効果がありますが、裁判所への申立が必要なか②③は認められないという違いがあります。ガイドライン利用については運営委員会に専用相談窓口(TEL.0120-380-883)が設けられていますが、実際のガイドライン利用にあたっては、現時点で要件の判断や運用に流動的な面があったり、申立書類が法的整理の場合以上に多数かつ難解であったり、個別事情によってはむしろ法的な手続が抜本的解決につながるケースもあります。仙台弁護士会館の法律相談センターでは、借金の相談は、平日無料法律相談を実施しています。ご自身の現状や希望を踏まえてどの方法が最善なのか、また、そのためにどのような手続や費用が必要なのか等、まずはお気軽にご相談いただければと思います。

## 法律相談の連絡先

**仙台弁護士会法律相談センター**  
仙台市青葉区一番町2-9-18  
TEL: 022-223-2383(予約不要。月・木は夜間相談あり)  
「みらいん」紙上で弁護士の先生に相談したい方、ぜひ困りごとの内容について教えてください。(8ページ参照)

## 今回の先生は・・・

たてわき さち こ  
**プロフィール 館脇幸子 弁護士**  
仙台弁護士会所属。東北大学卒。エール法律事務所。仙台弁護士会民事弁護委員会副委員長。河北新報「震災法律問題 Q&A」編集担当。宮城県男女共同参画相談法律相談員等



**予防法 1** **手洗い、うがいをマメに**  
せっけんを使った手洗い、うがいを小まめに。特に外出後は習慣づけましょう。また、空気が乾燥すると鼻、のどの粘膜の防御機能が低下するので、室内は適度に加湿を。ぬれたタオルを室内で乾かすのもよいでしょう。アルコール消毒液での手もみ殺菌も効果的です。

高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの症状が突然現れ、幼児はまれに急性脳症、高齢の方や免疫が低下している方は肺炎を併発するなど、重症になることがあります。毎年1・2月が流行のピークですから、その前にしっかりとした対策を。

## テーマ インフルエンザ

# 健康ナビ

**予防法 2** **予防接種で早めの対策を!**

効果が出るまで約二週間かかるワクチン接種は、インフルエンザにかかった場合の重症化が防止でき、受ける方は年々増加しています。六十五歳以上で仙台市に住民票をお持ちの方は、千円の費用で接種できます。更に六十五歳以上で、被災等による医療費の一部負担金等免除証明対象の方、生活保護の方、市民税非課税世帯の方は無料で受けられます(六十五歳未満は通常二千円前後くらい)。なお、高齢の方は肺炎を防ぐ働ききの肺炎球菌ワクチンも併せて受けると、より良いでしょう。宮城県内に住む七十歳以上の方は、今年度のみ無料で接種ができます。健康にこの冬を過ごしましょう。



## 「強風高風」

「ひとごと」  
できるなら時計の針を、あの三月十一日の、せめて正午あたりまで戻せたらなあ：と浮図思ってしまったひますが、でもそれは逆もとてもかなはぬことです。お釈迦様はおっしゃいました。この苦悩の人生を生きる我々は、例外なく誰しも、条件と弾みによっていつ何時どのやうな状態にでもなってしまう存在なのだ。ちよつと先のことも全く予想がつかない。だから最早、快適な生活や環境こそが私共の幸福をもたらすなどといふことは何か嘘っぱちに聞こえてきます。起きてしまったこの現実には、もう消すことも修正すらできません。ならば、各人各人の身にそのまま引き受ける以外に道はないといふのでせう。気が付けば、縁の巡り合はせのまま、どなたも重い現実を背負ひ、歩みだしたのです。その道が困難であればあるほど、まるで風が強いほど風が空高く舞ひ上がるが如く。

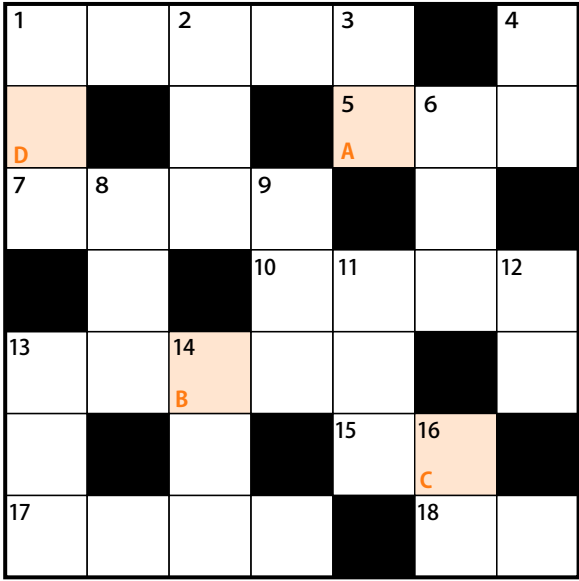
## 佐藤和丸

**佐藤和丸 (さとう かずまる)**  
若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

次号は濱田直嗣さん(宮城県慶長使節船ミュージアム館長)にご登場いただきます。

# クロスワードパズル

出題：石田竹久



※こたえは次号に掲載します。

## タテのカギ

- ①おなじみの郷土の味。ゆでた枝豆に砂糖を混ぜて作る、〇〇〇餅
- ②仙台出身の女優・鈴木京香は、1988年に水着キャンペーン〇〇〇に選ばれて本格デビュー
- ③派手の反対語
- ④大晦日から元旦にかけて、108回鳴り響く除夜の〇〇
- ⑥ゴルフの日本ツアーでアマチュアながらも優勝する快挙を達成した松山英樹は、東北〇〇〇大学の2年生
- ⑧学問と武芸の両面に長けた、〇〇〇両道
- ⑨コンビニって、コンビニエンス〇〇〇〇の略
- ⑩焼きすぎて黒くなったところ
- ⑫年越しとともに、ウサギからタツへ
- ⑬秋保温泉があるのは太白区、作並温泉があるのは〇〇〇〇区
- ⑭シーズン終盤、楽天の〇〇〇〇に定着した牧田明久
- ⑮冬の風物詩、石焼き〇〇

## ヨコのカギ

- ①斎太郎節(大漁唄い込み)より。♪松島の～、サーヨー、〇〇〇〇〇ほどの～
- ⑤栗原市出身の歌手・高橋ジョージ。奥さんは女優の〇〇〇美佳
- ⑦テニスや卓球などで、2人对2人で戦う試合
- ⑩「永久」をかな4文字で読むと?
- ⑬多くの参拝者で賑わう定義山。その門前の名物といえば、三角〇〇〇〇〇
- ⑮自分の兄弟の娘
- ⑰男声で、テノールとバスとの間
- ⑱仙台出身、中高と宮城学院に通った、オペラ歌手の〇〇〇公美子

こたえ	A	B	C	D
-----	---	---	---	---

## ご近所探訪

### 八木山界限

## 多くの市民に愛される場所

## 八木山開拓の意外な歴史

太白区八木山の一角、「八木山動物公園」正門前に、ある人物の銅像が立てられています。モデルは豪商として名をはせた五代・八木久兵衛翁。かつて「越路山」と呼ばれていたこの一帯を、多くの市民らが集い、憩う場所へと変えた人物です。

大正時代、乱伐により荒れ果てた越路山を憂いた四代・久兵衛翁が、山の再生を決意。百万坪以上とも言われる周辺の土地すべてを、私財を投じて購入・開拓しました。更に市民の健康増進を願い、五代目も敷地内に運動場や遊歩道、吊り橋などを整備。二代に渡り開拓を続け、現在の八木山の「礎」を築きました。今は動物園のほか、遊園地や放送局、学校施設などが建ち並び、多くの市民から愛されるエリアとなっています。



▲八木山動物公園前に立つ五代・八木久兵衛翁の像

**アクセス**  
 仙台市営バス・宮城交通バス/JR長町駅より動物公園前経由線等で八木山動物公園前バス下車

## 編集後記

知れば知るほど人情味あふれる太白区。今回の取材で、地域が一体となつて被災者を盛り上げようとする気運を感じました。これからの出会いが楽しみです。(さいとう)

「快適生活」のイラストは、東北工業大学ライフデザイン学部の学生さんが担当しています。読者の皆さんを含め、たくさんの方の協力を得て第一号が完成しました!(岡崎)

## 情報提供のお願い

「みらいん」は、皆さんと一緒に作り、歩む情報紙です。紙面に対するご感想や、紹介したい人や場所、今抱えている想いなどのコメントをハガキ、FAX、メールでお寄せください。読者の皆さんの思いを、紙面に反映していきます。

送付先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12  
「みらいん」編集部

FAX：022-390-5756  
e-mail：kawara@mmmm.or.jp